

原発処理水 海放出へ



敷地内に汚染水のタンクが並ぶ東京電力福島第1原発=2月27日（本社
ヘリから、中川明紀撮影）

決定すれば2013年から続く処理水の扱いを巡る議論の大きな節目となる。

しかし、原発事故に加え
重の風評被害が出るとして
地元や漁業者の懸念は大き
い。

梶山弘志経済産業相は9日
の閣議後の記者会見で国
際原子力機関（IAEA）
との連携を強調した。

新朝

風評対策、賠償も課題

福島第1

東京電力福島第一原発で処理済みの汚染水の処分に関し、政府が海洋放出の方針を固めたことが分かった。13日にも関係閣僚会議を開いて正式決定する。関係者が9日明らかにした。

政府、13日にも決定

(3面)
反対押し切る

連の岸宏会長が、この問題に対する針鋒決定に向かって表明した。岸会長は、第1原発料（デブリ）の注水や流域で現在も

共では、融解核燃
料を冷やすため
汚染水、処理水
を投入する地下水な
どが増え
ると
處理水は
で10の
管。東
年秋以
てはいる

続いている。東電に
「今年3月時点で処
理能力が25万トナ上り、
中の水も含め敷地内
のO-1基のタンクに保
たれはタンク容量が来
降に満杯になるとみ

海洋放出を巡っては、全漁連は昨年6月の通常総会で「断固反対」とする特別決議を全会一致で採択。政府に慎重判断を求める要請書を出すなどして、放出の影響について「風評被害の発生は必至」と訴えた。

©北海道新聞社

